



広島国際学院



9月開設

広島市中心部に立町キャンパス

特集 大学は大きく変わります ……	2・3
主任教授就任に当たって ……	4
はじめまして・放送大学の講師を務める ……	5
新しい大学生活のために! ……	6
総合的に就職支援 工学部 ……	7
学生の国際交流を広げる 現代社会学部 ……	8
専攻科を設置 短期大学部 ……	9
オーストラリアから留学生 高等学校 ……	10
学校献血はなぜ必要か・校友会写真部紹介 ……	11
しっかりつかんだ目標へ! ……	12
入学式にお茶会 ……	13
学生時代の思い出と社会人になって思うこと ……	13
ちよとテレビならリモコンボタン・特別研究成果報告会 ……	14
研究室紹介 ……	15
教育ミニシンポジウム 9月オープン立町キャンパス ……	16

自分に負けずチャレンジを続ける!

工学部情報工学科4年生

甲木 聖子

広報

第54号

平成15年7月1日発行

平成  
16年度

# 大学は大きく変わります

特 集

西暦2004年(平成16年)度は、教育界にとっても戦後に続き2度目の大改革の年になる。国立大学も法人化され、大学の質の保証に係る新たなシステム構築が開始される予定である。

本学はすでに、平成12年に大学基準協会の保証を受けているが、本来の大学の使命である「基本的素養」を身につけた人材を育成するため、更なる充実発展を目指し、「社会のニーズ」に応える改革を進めてきた。その結果、平成16年度からは、現在の情報工学科、メディア情報通信学科を母体とした「情報学部」を新設する。また、工学部に未来産業として期待される「バイオ・リサイクル学科」を設ける。

「工学部」「現代社会学部」「情報学部」の力を結集し、基礎学力や教養教育を充実させる「総合教育センター」を全学的組織として発足させる。

平成16年度からの  
広島国際学院大学 学部・学科 関連図



## 情報学部新設

### ■新しい時代の情報技術を学ぶ!

- 情報工学科、そして柔軟な感性を生かせる  
情報デザイン学科 -

情報学部設置の目的の一つが、コンピュータ、情報通信機器といった情報基盤をつくる技術を教える今までの「情報工学科」を充実させることである。そこで、メディア情報通信学科の情報分野を加え、「新しい情報工学科」を作ることにした。

「情報」は生活やビジネスの中に根付いているが、その利用技術は世界的にも初期の段階である。また、日本での情報の利用水準は10位と先進国でも遅れている。利用技術の中で世界的に注目されているのが、「情報デザイン(情報建築)」である。情報デザインの教育は、多摩美術大学など美術系大学での視覚デザインが中心となっている。バリアフリーといった人間に優しい建築が求められているように、人間に優しい情報技術も情報デザインの一つである。「情報デザイン学科」では今後、需要の増加が期待されるビジネス分野での情報デザインを中心に教育するため、データベース技術にも重点を置く。

情報技術の基礎教育は学部共通教育とし、利用者が安心して利用できる情報環境を提供する情報セキュリティについても共通教育とする。その他、学部共通教育を増やすことで、専門性にとらわれない情報技術教育ができるようにもしている。



情報デザインの授業



# バイオ・リサイクル学科を工学部に新設！

―時代が求めるリサイクルのスペシャリストを養成―

近年、バイオテクノロジーおよびリサイクルに対する社会の関心が高まっている。これは、生産・消費・廃棄という今までの流れが自然を破壊し、環境を悪化させるからである。環境を守るためには、生物が持っているいろいろな働きを私たち人間の生活に役立つように利用するバイオテクノロジーが必要となってきた。とくに、遺伝子レベルでの技術の発展には目覚ましいものがある。そこで、図のような循環型社会



興味湧くバイオの授業

を作る技術が重要となり、

技術者が求められている。とりわけリサイクルは、理論よりも「ものづくり」「技」を中心に、理論に裏づけられた分析、計測、リサイクル実習、現場体験などの基礎技術の習得が必須となってきた。とくに広島地区は古くから、自動車、電機産業、そして食品産業の盛んな土地柄である。これらの業種ではリサイクル法への対応から、解体工学、リサイクル工学、バイオテクノロジー、食品工学、遺伝子工学など基礎学問のほか、さらに高度で幅広い専門技術を習得した実践的リサイクル技術者の育成が必要となって来ている。

## 総合教育センターを新設

先行改革した！

### ―新しい時代の教養教育が身につく―

現在、多くの大学が教育を中心に据えようとしている。いま求められている大学教育は、平成3年度の大綱化による「大学教育＝専門教育」の動きの反省に立ち、変化の激しい流動的な社会に生きるための基礎能力を養おうとするものである。たとえば、情報をよりよく収集し、発信するための情報技術。環境に優しい工業技術、生態系や循環型社会を知ること、また複雑な現代社会を読み解く能力なども教養教育となる。全学的組織として総合教育センターを設けることで、工学・社会学・情報と幅広い学問領域を基礎とする豊かな教養教育を実施することが可能となる。

―平成15年度改革―

#### ◇現代社会学部に人間福祉コース新設

福祉について、人間について深く学びます。社会福祉士の国家試験のための科目も開講

#### ◇自動車短期大学部に専攻科(整備工学専攻)設置

1級自動車整備士の資格取得を目指し、専攻科が新設されました。より深く自動車について学びたい人にぴったりです。



# 主任教授就任にあたって

きめ細かく丁寧な教育を！

電気工学科主任教授 河野 健次



この度、西村先生の後を受けて電気工学科の主任教授に命じられました。平成16年度に大幅な学部学科の改組を控え現在計画中であります。大変重要な時期に主任を仰せつかり身の引き締まる思いです。

電気工学科は電気電子工学科としてスタートします。基幹産業の基盤である電気機器学、電力工学、制御工学などの強電系と情報社会の基礎である電子回路、通信工学、情報処理などの弱電系の両輪をバランス良く組み込んだカリキュラムを新スタッフで作成中です。スタッフ一同は、多様化した教育を受けてきた学生の個性に合った、きめ細かく丁寧な教育を徹底して行い、将来の技術者としての資質を高めるため、熱意と努力を惜しまないつもりです。電気工学科と新電気電子工学科準備室の教室運営が支障なく行われるよう努力します。皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

## 実験実習の体験による基礎原理を！

メディア情報通信学科 主任教授 江端 克彦



この度、主任教授に任命されました。昨今、全国の多くの大学で改革が行われている中、本学も変革を進めています。特に我が学科は厳しい環境にあり、その状況に是が非でも対処しなければなりません。工学部の教育は実験実習に比重をおいて、学生の理解を深め原理を学ばせることであると思います。今日まで各先生がいろいろと工夫されており、授業の中でも体験的な講義を実践されています。

一方、その専門の研究活動がより教育に反映されていることも確かです。これからはさらに、その傾向を増して行かなければならないと思います。

このように困難な状況にありますが、学科運営においても広範な思慮と独自性をにらみながら、希望をもって頑張るつもりでいます。何卒皆様のご支援を頂きますようお願いいたします。

分かりやすい授業を！

情報工学科主任教授 青井 秀樹



今年の4月から檜高先生の後任として情報工学科の主任教授を仰せつかりました。大学を取り巻く

環境は年々厳しくなっております。大学の使命は研究と教育です。研究の必要性は勿論ですが、今日では「大学の基本は教育である」と言われ、全学生に行き渡る良質な教育が必要になってきております。学生に満足感を与えるためには次の三つが必要です。分かりやすい授業を通して学問の面白さを知ってもらう。就職試験を突破して社会に出てもらう。そして社会に出た後でも通用する力をつけてもらう。これらは皆それぞれ難しいことではありますが、幸いなことに情報工学科の先生は皆、教育熱心で、社会の方向を良く知っておられます。チューター制を基本にした少人数教育、卒業研究のゼミを通しての就職対策と卒業研究指導で、ある程度成果を上げてきました。今後はさらにこれらを充実してゆくことが必要です。情報工学科の世話役として、実現してゆきたいと考えております。

# はじめまして

## 新任教職員紹介 (敬称略)



工学部共通基礎講座  
常勤講師

サンドラ.V.ウィリアムズ

皆さんの中には英語が嫌いな人もいれば、好きな人もいます。もし皆さんが英語を面白いと感じない場合、皆さんの関心のあることを見つかるお手伝いを喜んでしたいと思います。そこから、英語を使ったコミュニケーションへの関心を掻き立てることができたらと願っています。一緒に外国語を楽しんで学びましょう。



自動車短期大学部  
助教授

益永 茂治

2年前までマツダ株式会社で新型車の基礎設計と電気自動車・燃料電池自動車の開発を通算35年間行って来ました。このたび縁あって広島国際学院大学に奉職しました。

長年業界で育てて頂いた自動車技術に関する専門知識を、本学で整備士を目指す若い学生諸君に少しでも役に立ててもらえればと思っております。



経理課経理係長

渡辺 和広

マツダ及びマツダ関連会社での38年間の業務経験(経理、人事、総務、経営企画、子会社経営管理及び事業再構築)を活かしながら、法人事務局の業務を遂行したいと思います。そのためには、皆様のご協力が必要であります。よろしくご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。



学生課 事務職員

本多 弘樹

本学の現代社会学部をこの春卒業し、事務職員として迎えられました。学生の皆さん、どんな話でも相談にのるのでまずは学生課まで気軽に話しに来てみてください。私自身もできる限り君たちのために努力します。また、職員の方々には迷惑をかけると思いますがご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

古来の列女・孝子伝説話資料などを用いて、母性の持つ社会的役割を確認し、伝統的な家族の思想の本質を新たな角度で学習。この知見を現代日本の男女の人間自覚、子どもの自立、家庭や教育現場の深刻な諸問題にも関連づけた。20代から80代まで老若男女50名の学生には、映像・絵画なども交えた教材資料で興味深く学べ、東洋の家族・人間関係について新しい観点が得られたと好評だった。



ある甘えの構造とか母性的な体質という観点も、東洋古来の伝統的な儒教思想と関連づけると理解しやすいと語った。次に、この社会における特徴的な男女対応の形として注目されている「男尊女卑」は、儒教の人間観を孝思想と母性の関わりを視野に入れて、「男尊」を支援・保護する「女卑」という逆の観点から読み解くと、母性(母・妻・娘)に依存する父性(子・夫・父)という全く異なる男女の対応構造が見えてくるという理解に導いた。そして、実は母性は、柔順・忍従の姿勢で父性の独断専行を許容し、支援・保護して、父性に対して儒教家族制の基本的道徳理念である「忠孝」の実践を促し教導する実質的役割を持つ存在であったと説明した。



工学部共通基礎講座の下見隆雄教授が、「孝と母性―伝記説話から考える」と題して、3月13・14日の2日間にわたり放送大学(広島学習センター)面接講義の講師をつとめた。

人間関係について新しい観点が得られたと好評!

## 放送大学の講師を務める



# 新しい大学生活のために！

## ～出会いと感動～ 行事多彩

4月9日(水)平成15年度工学部のオリエンテーションが行われた。昨年度のように学科ごとで実施した。学科の概要説明・各資格取得・カリキュラム等を説明し、教員の自己紹介もした。和やかな雰囲気があちこちで見られた。



～和やかな雰囲気～



ストライク?!

電気工学科はバイキング昼食会、情報工学科は学生の有志が運営してクロスワードスタンプラリーを楽しんだ。メディア情報通信学科はボウリングで文字どおり意気投合した。機械工学科もソフトボールで和気あいあいとなった。

### 出会いづくりと体カづくり —スポーツをたのしむ—

# オリエンテーション

## マラソン大会



いよいよスタート

さわやかな五月晴れの5月17日(土)、第20回学長杯マラソン大会が中野キャンパス・グラウンドをスタート・ゴールとして行われた。

今年は20回という節目でもあり、マラソンの部、駅伝の部、合わせて89名のランナーが集まった。学生部長のピストルを合図に、高城体育館前をスタート。瀬野川の河原沿い3キロのコースで健脚を競い、全員が無事に完走した。

学長も忙しい中駆け付け、参加者たちを激励した。成績は次のとおりである。

### ●マラソンの部

- 1位 岡 照人
- 2位 富田康司
- 3位 富田直志

### ●駅伝の部

- 1位 サッカー部
- 2位 ゴルフ部
- 3位 フットサル同好会



がんばってます!

## ボウリング大会



この会はボウリングを通じて、本学と他大学の学友が親睦と交流を深めることを狙いとしている。今年は本学の学友会体育局が、6月8日(日)

五日市ファイブスターにおいて、主催し行われた。近隣の各大学から総勢68名の参加があった。

和気あいあいの雰囲気で、皆が多いに楽しみ親しくなれた。成績は次のとおりとなった。

- 優勝 石脇(広島工業大学)・西川(山陽女子短期大学)ペア
- 2位 曾田(広島経済大学)・玉城(広島文教女子大学)ペア
- 3位 杉浦(広島工業大学)・掛川(広島文教女子大学)ペア



ガータはないよ?!

# 総合的に就職支援

1年生から  
就職活動の支援を進める!

## 工学部



企業説明会の緊張

平成15年度の初めより工学部で「総合的就職支援」がスタートした。1年次生から就職支援のきめ細かい取り組みを進める。

1年次生はまず入学時点で「自己分析」を受検し、併せて「キャンパスライフ講演会」も受講させ、就職等の動機付けと受講科目の履修計画、及び就職に有益な資格取得を意識するよう指導する。また2年次生の後期も「自己分析」を受検し、2年間の成長・変化を確認する。さらに、3年次生の夏休み直前、全員が「適性・適職試験」を受検する。夏休み終了直前に集中講義で「キャリアデザイン」が6日間(24コマ)



講師の熱意!

ある。過去3回の受検結果等を参考にして、自己分析・自己PR・職業観・就職試験対策模試・文章表現・会話能力・面接対策等を学び、単位を認定する。その他に、各学年で視聴覚教材を用いた就職ガイダンスと、就職試験対策講座・各種資格取得講座を課外で実施する。未整理の部分もあった就職支援を総合的・系統的に推進できるよう改善した。

## 博士の学位4名に授与される

このたび、大学院工学研究科・材料工学専攻で3名、同じく計測制御専攻1名に博士号(工学)が授与された。材料工学専攻のチャリン・テチャブン氏(タイ、チェンマイ大学講師)、藤山博一氏(福岡工業大学講師)の2名は論文博士。いずれも高いレベルの博士論文による授与である。宇都宮丈裕氏は本学情報工学科出身。愛媛大学農学部大学院進学を辞退して本学に入学、3年で喜びの課程博士号授与となった。計測制御専攻の池坊繁屋氏は、6編からなる優れた博士論文で課程博士を授与された。



本学博士課程の研究と教育の充実ぶりは、各分野で次第に注目されつつある。今後も発展が期待される。

## 携帯で楽しめるゲームを開発したよっ!

工学部メディア情報通信学科 田中誠助教授の卒研究生、中尾逸人、中嶋顕太、野尻基晴、山本忠俊の4名は、卒業研究でJAVAプログラミングに取り組み、J-phoneやKDDIの携帯電話で動作するゲームソフトを開発して、その成果を一般に公開した。



作成したのはシューティング・ゲーム「小宇宙 - cosmo -」、登録カテゴリは「アクション/シューティング」、種別は「フリー」、作者名「sokken」。携帯アプリダウンロードサイトの「Jアプリ ゲット(<http://jp.appget.com/>)」にアップロードし、人気ランキングで、271組中最高5位を記録するまでになった。

成果の一般公開により、学生たちの喜びと達成感が伝わってくる。それがなにより成果である。



開発グループ





古い歴史と素晴らしい建造物にカンドウ

# 学生の国際交流を広げる!

現代  
社会学部

社会学部

3月24日から4月8日の約2週間、学生5人で、イギリスのブライトンでホームステイを経験してきました。イギリスは古い歴史とすばらしい建造物を持ち、また英語発祥の国ということで興味を持っていたものの、出発前日に懸念していたイラク戦争が始まり、先生方や家族に心配をかけ、不安の募る出発となりました。

ブライトンはイギリス海峡に面し、王室に愛されたイギリス最大のリゾート地です。そこで多様な人々に出会えました。私達が通った語学学校のクラスでも、日本、中国、スイス、コロンビアから来た学生がいっしょに学びました。お互いの国のことを知り、改めて「生きた」「自分が生活するための」英語について見直すことができました。

4年生  
桑谷美和  
ブライトンホームステイを終えて



## 新入生歓迎会

～和やかな雰囲気の出会～

去る4月7日(月)上瀬野キャンパスグラウンドで、2003年新入生歓迎会が開催された。13時に体育館前で開会式。その後グラウンドに移動し、8チームに分かれ4つのコートでソフトボールの試合がスタートした。1試合50分でトーナメント方式の3試合。学部長をはじめ教職員と上級生も参加した。初めは少しぎこちなかったが、試合を重ねるごとにだんだんと楽しく真剣に(?)もなり、華麗なプレーも見られた。1位は若さと技の新入生武良チームに決まった。16時半から食堂にて歓迎食事会と表彰式が行われ、すっかり和やかな雰囲気につつまれた。



試合前 ひとつ打ってやろう!



笑顔いっぱい!楽しんだ!

**私の抱負 実践を研究に!**  
精神障害者共同作業所の機能について

現代社会学部研究科博士課程後期1年生 佐々木哲二郎

福祉の現場で働くこと29年、年齢50を過ぎての社会人入學。この機会にチャレンジしたのは、ソーシャルワーカーとしてかかわってきた共同作業所での実践を研究に、研究を実践に生かしたいとの思いがあったからです。共同作業所は障害者のセルフヘルプ、就労訓練、さらには生活支援をも担っています。にもかかわらず、精神保健福祉施策が未整備の中で、規模や財政においては困難な運営を強いられてきたのです。私はそこでの人間関係の豊かさに魅了され、作業所の現状と将来にコミットできることを願ってきました。

社会学の方法論は、福祉実践の学問基盤である社会福祉学に数多く導入されています。そのため社会学に違和感がなく、むしろ憧憬を抱いていましたので、迷わずこの門を叩くことにしました。

学部から進学された若い人たちが学ぶことに気恥ずかしさを覚え、また仕事と大学院の両立が容易でないことを覚悟しつつ新しい生活に挑んでいます。



— 1級自動車整備士資格取得への道は開けた —

平成14年度から1級自動車整備士の技能検定がスタートし、それに伴い短期大学部においても、本年度から専攻科を設置する運びとなった。

教育内容は、電子制御機器の新技术への対応や自動車ユーザーの保守管理意識を高揚させるための指導的な役割、自動車分解整備事業におけるリサイクルの推進や地球環境の保全の問題等、自動車整備事業全体のサービスの高度化を目指すものである。技能検定試験の種類には、大型の四輪自動車を扱う「1級大型自動車整備士」と小型の四輪自動車を扱う「1級小型自動車整備士」の2種類があり、試験は「学科試験」「実技試験」「口述式試験」の3種目がある。口述式試験は自動車技術が高度化するなかで、ユーザーとの対話を通じた総合的な故障診断能力が求められ、この様な高度な整備に対応できるかどうかを判定するための試験である。



高度な整備への対応能力

なお、本学の専攻科を修了した者に対しては、実技試験免除の特典が与えられている。この度、初めて実施された「1級小型自動車整備士」の技能検定試験においては、全国で9,107名が受験し、最終的に合格したのは330名(合格率約3.6%)であった。ちなみに広島県は11名の1級小型自動車整備士が初めて誕生した。

自分でも怖いくらい勉強した！  
— 2級自動車整備士資格試験を目指して —



平成14年度卒業生 小田 浩睦

おだ ひろ ちか  
ぼくは2級整備士の資格を目指して自動車短期大学部に入りました。当初、先生にお任せしておけば何とかなんと単純に思っていました。講習が始まって模擬試験を受けるようになって、思うように合格点は取れません。成績がよくないため個人指導を受けることになったのですが、最初は、早く帰宅したい、まだまだ時間はあると思っていました。個人指導の先生からの練習問題も「やらされている」という気持ちが強かったように思います。一方では、就職先は内定しているのにこのままで将来、自分は整備士になり仕事を続けていけるのだろうかという不安の日々も続きます。自分が頑張らないとどうにもならない、家族も応援してくれているのだから受験に向けてもっと真面目に勉強しようと思直しました。生まれて初めてです。計算問題が苦手と思うように得点が取れませんでした。その内、徐々にではありますが得点が上がりだし、時には、合格点が取れるようになりました。解ける問題が増えてくると勉強が楽しくなり、同時に、できるだけたくさんの課題に取組もうという意欲も出て、成績がトップの人をライバルにして「次は彼を追い越すぞ」と思うようになりました。帰宅して勉強する時間も長くなり、自分でも怖いくらい没頭しました。問題をこなせばこなすほど理解度は増すし、これほど勉強が楽しいと思ったことはありません。

試験の時は非常に緊張しましたが、無事、合格することができました。先生は「自分が頑張ったけん、合格できたんよ。」といわれましたが、先生や家族のお陰で合格できたと思っています。

今振り返ると短大で勉強したことは基礎だったと思います。でも、基礎ができていないと実社会では大変苦労すると思います。1日1日が勉強の連続ですが、楽しく頑張っています。

一人暮らしの学生交流会を開く

何より頼りになるのは隣の学生！



なごやかな交流会

本学の休学・退学の実態調査では、自宅通学者より下宿生の退学者が多いことが判明した。その要因は色々あるが、人との接し方が希薄で下宿生活になじめず、自室に閉じこもりそして退学してゆく傾向が強い。

親元を離れ、衣食住をすべて自分の力でしなければならぬ現実に直面したとき、一番頼りにするのが隣人。そこで、初めての試みとして5月10日(土)、総勢38名が集まり、交流会を実施した。

人と人との関係の大切さに気づく

午前中はビデオ鑑賞をした。ある企業の技術開発をめぐる実話小説を映画化した作品である。鑑賞後、ある学生は映画の設定を下宿生活に置き換え、人間関係の大切さを述べていた。

午後は下宿生活状況を報告し合った。朝食を摂っていない学生が8割を占めているという下宿生の生活実態も判明した。先輩下宿生からは、下宿生活が人間形成の確立に不可欠であること、自分が知らない間に主体性が生まれ、就職活動に大いにプラスになったこと、どこの店のどの商品が安いなど日常生活で参考になることが多数報告された。看護師は一日三度の食事は必要であることや、栄養のバランスを考えた献立が大切であることなど、健康管理面で助言し、また悩みがあれば相談室に来るように伝えた。

終始なごやかな雰囲気での交流ができ所期の目的は達成した。下宿生の退学者が出ないことを期待し、次年度も継続の予定。



春暖の4月8日(火)、第57回入学式が盛大に挙行された。新しい制服に身を包んだ新入生488名は校庭の花々に迎えられ、緊張した面持ちで入学式会場に入っていった。多数のご来賓の臨席のもと入学許可、式辞、新入生代表の力強い宣誓と厳粛のうちに盛大にとりおこなわれた。式終了後、オーストラリアからの留学生が紹介され、恒例になっている吹奏楽部の歓迎演奏もあって、緊張した会場も和やかな雰囲気になっていった。新入生はそれぞれの教室に入り、新しい高校生活がスタートした。

♪ 広島駅南口地下広場でコンサート!

★要請に応じて 吹奏楽部大熱演!★



本校吹奏楽部に、広島駅南口地下広場での演奏をしてほしいという要請が

昨年から再三されていた。日程が合わず延び延びになっていたが、4月29日(祝)にコンサートを開催する運びになった。今回は、2・3年生を中心に構成し出演。姉妹校から留学したばかりのシャサ君も参加した。当日、広場は大勢の人々で溢れ、熱演に酔いしれた。演奏は、今年の吹奏楽コンクールの課題曲などクラシックから始まり、「アメリカン・グラフィティ」「ジャパニーズ・グラフィティ」と、日米の誰もが親しんだ懐かしの名曲の演奏へと続いた。ソロ演奏、踊りや独唱ありの楽しい音楽に観客は大喜びであった。最後は、1年生全員も参加して、「鉄腕アトム」を合唱付きで披露。大喝采のうちに終了した。



この勢い! 震える心!

長期留学のため来校!

|| シャサ君、日本の人からいろんなことを学びました ||

オーストラリアの姉妹校から

この1ヶ月でいろんなことをしました。いろんな素晴らしい人と出会い、文化や暮らしの違いについて話しました。友達やホストファミリーと広島へ行き、映画を観たり、買い物をしたりしました。東京でデジタルカメラや電子辞書などたくさんお金を使ったので広島ではあまり買いませんでした。吹奏楽部で練習もしています。こんなにうまい人達と演奏したことはないの、一緒に演奏できることがとても嬉しいです。滞在中にクラリネットがもっとうまくなりたいです。空手部にも入っています。日本で空手ができてとても楽しく過ごしています。大きなニュースと言えば、カープとドラゴンズの試合を見に行ったことです。最終回にカープが大逆転をしてとても楽しかったです。日本の学校では「頑張る」という精神が大きく人を左右しているようです。例えば、オーストラリアではある人が何が不得意だとします。その人は努力して上達しようとは全くしません。そういう人の言い訳は「生まれつき不得意だから」なのです。努力すれば伸びるとは考えないのです。ただ、ダラダラしたり生まれつきだからしょうがないとあきらめてしまうのです。しかし、実際同年代の人より秀でることはそれまでにどれくらい勉強したか、あるいは訓練してきたかなのです。



『達成しようとする意志』があればできるのです。日本の人は努力すれば達成できることを知っています。私はこういう素晴らしい文化を身につけて帰ります。日本の人からいろんなことを学びました。これからもこの気持ちを大切にしていきます。



日本の素晴らしい文化を身に付けて帰ります





# シリーズ献血①学校献血はなぜ必要か!

## 学友会厚生委員会から発信

厚生委員会の主な活動の1つとして毎年、両学部において学内献血を行っています。

今回は学校献血の重要性について述べたいと思います。

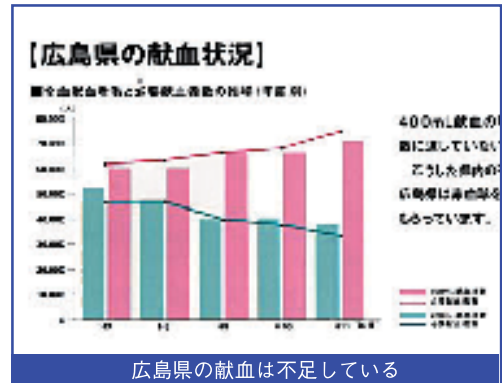
グラフが示すように、現在、広島県において献血は足りている状態ではなく、他県からの支援により補われています。さて、献血に最も協力しているのはどの世代だと思いますか?実は20代です。広島県で20代の献血者の全体に占める割合は30.6%(平成11年度)で、30代の23.7%を引き離しています。それだけ20代の担うウェイトは大きく重要なのです。また、若い人は400mlの献血に協力している場合が多く、それだけ血液の出所が少なくなり、安全性の向上と確保が図れます。

県内の多くの大学で活発に学内献血活動が行なわれています。20代の献血者を確保するうえで学内献血の果たす役割は非常に大きく重要です。昨年、本学の30有余年に及ぶ活動が評価され、厚生労働大臣の表彰を受けました。今後とも皆様の理解と協力を頂き、活動を強力に進めたいと思っています。

このシリーズは、①学校献血はなぜ必要か!②献血による血液の使い道③献血の必要性の3回を予定しています。



さわやかに献血



受賞作品

## 学友会写真部紹介 ビジュアルな表現手法の探究

私たちは、白黒写真をメインにビジュアル表現全般を活動の対象としています。具体的には作品の制作と写真展の開催・展示があげられます。大学行事や他サークルの活動などの撮影を依頼されることもあります。この他、個々で各種コンテストにも応募します。昨年度はRCCのテレビ番組『モテモテロックnight』の写真コンテストで、我が写真部の松浦正憲が大賞を連続受賞しました。密度の濃い活動内容ですが、一方では初心者でも難なくサークルに溶け込み、写真を始められます。

設備も充実しており、広島大学の写真部の中でも特にハイレベルな、白黒現像に特化した専用の暗室があります。部員ならば24時間いつでも現像・引き伸ばしプリント等の創作活動ができるのです。部員はこの施設で日々表現手法を探求しており、サークルボックスは常に活気に溢れています。

他大学との交流も活発です。一緒に撮影に出かけたり、毎年春に行われる『photo Market』など年2回の合同写真展を催したりします。日々の創作活動の刺激になり表現の幅が広がります。



写真展

大賞を連続受賞



大学生生活を最高の自分にしたい！

入学式の日、私は言葉には表せない不安とこれからの大学生活への期待を胸に秘め、体育館への坂を上っていました。その時、式場の前で先生に剣道部に入るように勧誘され驚き戸惑いました。小学生の時から剣道をやっていたのですが、大学で何のサークルに入るか決めておらず、迷っていたのです。しかし、先生の熱心な話に心を打たれ、また女子の先輩がいたことがサークルに入るきっかけになりました。

## 自分に負けずチャレンジを続ける！

レポートや試験、サークル活動に追われているうちに、いつのまにか4年生になっていました。

今、3年間を振り返ってみると、大学で何事にも挑戦し続けてこれたのは、私の周りの友達や先生、先輩やサークル部員の人たちが良い人ばかりだったからだと思っています。これまでの経験から、多くの事を得ることができました。私にとって、大学生活は充実していたと思っています。

3年生の時からゼミに配属され、今は先輩から引継いだ卒業研究に取り組んでいます。卒業研究は答えがあるわけではないし、自分で考えて問題を解決していくのは大変難しく、苦勞の連続です。分からないことばかりですが、粘り強く勉強し理解を深めていきたいです。

大学生活もあと1年しかありません。チャレンジを続け、大学で学んだ事を社会で活用していきたいと思っています。

何事にも自分に負けないように頑張っていきます！

工学部情報工学科4年生

甲木 聖子

## 私の大学生活

## しつかりつかんだ目標へ！

僕は今BMXを楽しんでいます。BMXとは20インチの自転車で演技するスポーツです。4つのジャンルがあり、僕はそのうち平らな地面でスピンやハンドルを回して技をするFLATLAND（フラット



自分で考え出す無限に広がる技！  
中国新聞提供＝2003.1.4＝掲載

ランド)をやっています。BMXを始めたきっかけは15歳の時に見たテレビです。「自転車でこんな事ができるんだ！」と衝撃を受けました。技が決まった時の喜び、技の数がすごく多いから飽きない、暇さえあれば練習できるなど、BMXにはいろいろな魅力があります。

人一倍楽しんだせい、このたびプロクラスに昇格することができました。「KOG」（キングオブグラウンド）という年に4回ある大会で1回優勝するか、総合ポイントの年間ランキング上位3名に入るとプロクラスの資格が与えられます。僕は年間ランキング1位を獲得しました。プロクラスに上がっても成績が悪くと降格してしまうのでとても厳しい世界だと思います。しかし、上がったからには上位入賞を果たして常にプロでいられるよう人一倍努力し、実力を試すため海外での大会にも挑戦していきたいです。自転車が大好きなので、将来はお洒落な自転車屋を開くのが夢です。

BMXはスケートボードなどと比べてまだ知名度が低いので、これからシーンを盛り上げて少しでも多くの人に理解してもらえようようにカッコよく楽しくPlayしていきたいです。

## BMXにかける

## お洒落な自転車屋を開きたい！

現代社会学部4年生 坪井 浩紀



# 入学式にお茶会

新しい世界を見つけることができた！

茶道愛好会（工学部機械工学科2年生）

木原啓人



大学生になって、今までに体験したことのない世界へ足を踏み入れてみたかったです。茶道はかたつくらしいイメージだけが先にたつて、なかなか始めにくいものだと思っていました。けど、ちよつとしたことに入つたのがきっかけで新しい世界を見つけることができました。茶道には礼儀作法、もてなし、思いやりの心など美しい日本の文化がつまっています。

先輩が卒業し、春の入学式茶会は自分たちだけで稽古、準備、資金集めまでしなくてはならぬ大変でした。しかし当日は満開のさくらの下150名を超える新入学生と保護者の方々をお祝いすることができ、大成功に終わりました。これも短冊を書いてくださった理事長先生をはじめ、あらゆる面で協力してくださった多くの先生方、学校関係者の皆様の支えを頂いたからだと思います。そして、私たちのために毎週遠くから指導しに来てくださっている久賀先生、本当にありがとうございます。こうして素直に感謝できるのも茶道を始めたおかげだと思います。



いま、素直に感謝できるのも茶道のおかげ

学生時代の想い出と社会人になって思うこと

日々勉強！ 技術習得が重要

工学部情報工学科平成7年3月卒業

川手雅史

平成7年4月に中国新聞社に入社、制作局画像部に配属されました。専用のワークステーション（WS）を使って紙面に掲載される写真の画像補正、地紋（見出し）作成、新聞広告入力処理が主な仕事でした。紙面製作とは別にカラー紙面印面をより美しく仕上げるための研究にも取り組みました。

画像部（後にビジュアルグループと改称）での7年間のうち、最後の約1年間はデザインチームに所属しました。新聞記事とともに掲載される地図、グラフ、カット、図解などのデザイン作成をしました。先の3つは新聞記事をより視覚的に分かりやすくするもので、デザインによつて善し悪しが決まります。カットはタイトルカットなど見出しに代わるものです。

画像補正、デザインで使用するWS、Macなどの多くは学生時代から方法を知りました。機器の移り変わりの早さは目覚ましく、日々勉強、その技術習得が重要です。

昨年10月より広告局に配属され、広告デジタル化推進に取り組んでいます。広告業界では有力広告主の間で広告制作費の削減と取引の迅速化を強く求められています。アナログ的「な部分をデジタル化することで、省人、省力化、コストダウンできると見込んでいます。入社して8年、配属先での様々な業務から新聞社は『職種のデパート』だと痛感しています。



新聞社は「職種のデパート」と話す

# ちょっとテレながらリモコンボタン

## お年寄りがデジタル放送の体験!

三好研究室では卒業研究の一つとして、地上波デジタル放送実験協議会の会員となって、地上波を使ったデジタル放送におけるデータ放送の利用方法について研究している。地上波を使ったデジタル放送は2002年12月から東京・大阪・名古屋で放送開始。広島でも2006年に開始予定である。デジタル放送は番組とともにデータも放送する。番組を見ながら情報を選び、閲覧したり、ショッピングするといった双方向的な使い方もできる。

この実験を今年の3月、老人保健施設「せのがわ」のご協力で、中国地上デジタル放送研究開発支援センターの設備をお借りし、NTTデータの技術支援を受けて実施した。お年寄りにデジタル放送の良さを体験して頂き、テレビゲームや福祉用品ショッピングのご意見を伺った。



テレビショッピング画面



緊張してしま～す!(説明する学生)

### 地上デジタル放送によるショッピング体験



ふうーんなるほどー!

ショッピングは、画面がわかりやすいという意見があったが、操作が難しいという意見もでた。これはデジタル放送用のリモコンボタンが小さくて、お年寄りには押しづらいということのようである。これからはリモコンボタンの改良を含め、誰でも気軽に楽しく使えるデータ放送の研究を進めて行きたいと思っている。

## 平成14年度工学部学内特別研究成果報告会

研究者の熱意を感じ合う場所として!

工学部長 いま 今 むら 村 あきら 詮

研究費をより有効に利用するために、平成14年度より申請された研究課題とそれに伴う研究費の内容を審査して、評価の高い研究に対して研究費を配分する枠がもうけられた。それとともに、その研究成果を報告し、申請どおりあるいはそれ以上の成果が得られているかどうか、チェックすることになった。このたびの成果報告会がその第1回目にあたる。

第1回目の報告会は、平成15年3月17日(月)午前10時より開催された。発表された件数は、平成14年度に特別研究費が交付された12件で、午前6件、午後6件の発表が行われた。かなりの成果を上げている研究、取り扱っている研究課題が極めて難しくすぐに目に見える成果が得にくい研究、まだ緒についたばかりの研究、学外と連携し分担領域を定めてなされている研究、途中段階にある研究などいろいろあったが、発表者はいずれもこの1年の努力の成果をまとめて公表し、それに対して学長をはじめとする多くの参加者との間で活発な討論が進められた。



厳しい質問・意見

本来、研究の成果の評価ほど難しいものはないともいわれる。大体同じ分野であればImpact Factorの大きい雑誌に論文がPublishされているかどうか判断の基準になるが、本学のようにいろいろな分野の研究では、それも難しい。しかし、研究者の研究に対する熱意は発表をきけば伝わってくるものである。いま早急に成果を云々するよりは、研究者の熱意を感じる場所としてこの成果報告会を位置づけ、その中から島津の田中耕一さんのような研究が生まれることを期待したい。



張りつめる発表会場





## 工学部 メディア情報工学科

たか き なお みつ  
高木 尚光 研究室



ゼミの学生

私は、非線形、非定常、非ガウス、非決定論（確率論）を考慮した信号処理・雑音処理の研究に従事しています。もう少し簡単に言うと、工学において、時間経過とともに対象としている値（信号）が不規則に変動する物理量を取り扱わなければならない場合に出会うことがあります。さらには、その信号が発生する機構自体も複雑な要素が絡み合った場合があります。たとえば、道路交通騒音を信号とする場合、車輛の走行状態・音の伝搬状態・個々の車輛が発生する音の大きさなど様々な複雑な要因の結果として、信号（道路交通騒音）が観測されます。このような信号を扱う場合は、複雑で多種多様な要因を考慮した手法（理論）が必要となります。すなわち、解析しやすいように理想状態を仮定した手法（標準的な理論）ではなく、統一的に論じることのできる一般手法（理論）について研究しています。

卒業研究テーマは、学生本人の希望にできるだけ沿うようにしていますが、最近のテーマとしては、「ファジィ推論」、「Visual Basicによるゲーム作成」、「Visual Basicによる制御シミュレーション」、「重回帰分析」、「主成分分析」などを考えています。



分析に熱が入る！

私は、非線形、非定常、非ガウス、非決定論（確率論）を考慮した信号処理・雑音処理の研究に従事しています。もう少し簡単に言うと、

## 研究室紹介



## 現代社会学部

ま なべ とも こ  
真鍋 知子 研究室



研究室にて

今年度は、文部科学省と日本学術振興会が実施する科学研究費補助金によって、2件の研究を進めています。

ひとつめは、私個人が昨年から三年間の予定で取り組んでいる「『地域婦人会』の現代的機能と新たなネットワーク形成」です。このテーマでは、会員の減少による解散など、各地で衰退化している「地域婦人会」を取り上げ、この地域集団が担ってきた機能が不必要になったのか、あるいはNPOなどの新しい集団に移譲しつつあるのか、について調査しています。

現在は、大学院前期課程「社会ネットワーク論特論A」の受講生とともに、昨年収集した関連資料の分析を進めており、これをもとに仮説を組み立て、「地域婦人会」を対象としたアンケート調査を実施する予定です。

ふたつめは、現代社会学部の目黒教授が研究代表者、池本助教授と私が研究分担者となっている、「知的及び精神障害者によるコンピュータ・

ワークの事業化に関する研究～障害者就労を通じた地域活性化事業のアクション・リサーチ～」です。この研究は、兵庫県佐用郡南光町をフィールドに、今年度から二年間の予定で実施します。私の担当は、南光町の特産品（ひまわり製品や野菜・果物など）の販売を目的とした「ファンクラブ」事業の設立に関するアンケート調査の実施・分析です。

町の観光資源としては「ひまわり畑」があり、7～8月のシーズン中には15万人の観光客が訪れます。現在は、この観光客を対象に1999年に町が実施したアンケート調査（約5千票）を、三年生のゼミ生とともに分析しています。この結果をもとに、今年の「ひまわり祭り」においても「ファンクラブ」の事業計画の基礎資料となるアンケートを実施する予定です。

このように、今年は異なるテーマで複数の調査を計画しており、日々の教育に加えて、研究にもますます邁進していこうと思っています。



学生たちと語らう

# 工学部教育ミニシンポジウムを開く！

工学部長 今村 詮

学生諸君に満足してもらえない教育をすることができるとか、本学にとって生き残れるかどうかを決定する最も重要な因子になる。教える立場の教員がよい教育と想っても、学ぶ立場の学生の皆さんが満足してくれなければ、単なる独りよがりとなる。この問題点を克服するひとつの方向として、互いに教育内容を披露し、忌憚のない意見を述べ合う場の設定を考えた。そこで昨年より「学内特別教育費」を配分していることで、その成果報告とともに、今年度新たに申請されたテーマについての実施計画を発表するシンポジウムを3月13日(木)開催した。教育成果を上げるために考えてきたいろいろなアイデアをお互いに出し合い、その情報交換を通して、全学的に学生諸君へより大きな満足を与えることができるようになるのが目的である。



創意工夫！相互研修

午前には11件の発表で、その内訳は14年度の「学内特別教育費」による成果発表の9件と飛び入りの発表2件である。午後は次年度申請の実施計画9件の発表があった。学長、総長をはじめ、多くの教員が参加して活発な意見が交わされ、討論時間が不足気味であった。今後の参考になる興味

## 学生一人ひとりが満足する授業を！

深い発表が多かったが、特に興味を引いたと思われるものを紹介する。情報工学科の銭教授による「実践型ネットワーク関連技術者の育成とネットワーク関連資格取得への支援」では、マンツーマンの指導による成果が紹介された。銭教授、趙助教のコンビの並々ならぬ熱意と努力が発表からあふれ、聴衆に極めて大きなインパクトを与えた。共通基礎講座の高石講師による「工学部1年次の数学教室における個別指導の成果」では、習熟度別の指導、事前教育、夏休み期間の夏季特別補講(リカレント補講)、学習支援室を利用したきめ細かい指導など、独創的な教育方法の成果が顕著なことが明らかにされた。また機械工学科の内海講師による「3次元CADの導入」は、巧みなプレゼンテーションによって学生のモチベーションをうまく導き出し、学生が感激するであろうと納得できる発表であった。今後この試みを継続して行くことが重要である。課題としては全教員が出席すること。できれば学生諸君にもこの会に出席し、意見を述べてもらうことを考えていきたい。この意見交換・情報交換により本学の教育内容の特色が築かれていくことを切望する。



## 9月オープン 広島市の中心部に立町キャンパスを新設 広島国際学院大学

### ● 地域の中・高校生と大学を結ぶ交流と文化の発信センター

9月には広島市の中心、紙屋町と八丁堀の間にぎやかな一角に、教育・研究と地域交流の拠点として立町キャンパスが開設される予定です。朝日ビルディングの1階と地下1階に、多目的ホール、会議室、ゼミ室、休憩のためのサロンが併設されます。



ここは、学生のみなさんを始め卒業生、保護者の方にも自由に利用していただくと共に、地域社会の活性化や大学と高校の交流も行う多目的な施設です。現代社会学部はもちろん、新設の情報学部や工学部では、ここで講義やゼミナール、学会の研究会などを計画しています。また、学生サークルが発表会などを行うこともできます。高校生を対象とした公開授業も行われ、高校生のみなさんが絵画展などクラブ活動の成果を発表することも可能です。社会人を対象にした公開講座、英会話や資格のための講習会なども計画中で、ときには音楽会や楽しいイベントも予定されています。



この広報はホームページでご覧になれます。 <http://www.hkg.ac.jp/kikaku/kouhou/>